学校番号	3005

令和２年度　工業科（グラフィックデザイン系）

教科	工業	科目	グラフィックデザイン実習	単位数	６単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	自作プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

グラフィックデザイン実習は、単に与えられた問題や課題を手順に沿って学ぶだけのものではありません。それらで得た技術や知識を活かし、自らが問題や課題を見つけだし、自分なりに答えを求め考えようとする意欲や姿勢を身に着けることに主眼を置いています。また、グラフィックデザインについて総合的に理解し、グラフィックデザインを通して学び得る力で産業界を支える人材育成が目標です。実習の中では、デザイン製図や専門に関する座学で学んだことを活用し、それぞれのパートで学習の効果を高めるよう工夫しましょう。

2　学習の到達目標

グラフィックデザインに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、現代社会におけるグラフィックデザインに求められている意義や役割を理解させるとともに、表現方法及び知的財産権等に配慮しつつ、さまざまな角度から物事を捉える姿勢を身に着け、主体的に新しい価値観の創造と提案をおこない、社会の発展や改善を図ることのできる能力と実践的な態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	グラフィックデザインに関する課題について関心をもち、その改善･向上をめざして主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。	グラフィックデザインに関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	グラフィックデザインに関する基礎的･基本的な技術を身に付け、環境に配慮し、ものづくりを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	グラフィックデザインに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会における工業の意義や役割を理解している。
評価方法	学習状況の観察 ワークシートの記述 制作品 観察記録表 レポート、発表 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ワークシートの記述 制作品 観察記録表 レポート、発表 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 制作品 観察記録表 レポート自己評価・相互評価　等	学習状況の観察 ワークシートの記述 制作品 観察記録表 レポート、発表 自己評価・相互評価等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

ローテーション	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
パート1	DTP1	・デザインのルール ・レイアウトの基本ルールと考え方 ・文字と書体 ・ロゴの作成手順 ・マップの作成手順	○ ◎	○ ○ ○	 ◎ ◎ ◎	 ○ ○ ○	a:組版の仕組みや、版面全体のレイアウト、構成ルールを理解し、意欲的に取り組んでいる。 b: 禁則処理や組版に関わる用語を理解し、編集手順や作業効率を高める計画を立てることができる。 c: グラフィックデザインソフトの基本操作技術と課題作成技術が身に付いている。 d:読みやすく、人を惹きつける文字の使い方やレイアウトを理解し、提案できる。	学習状況の観察 ワークシートの記述 制作品 観察記録表 レポート、発表 自己評価・相互評価　等
パート2	撮影技術1	・デジタルカメラの使用方法 ・一眼レフカメラのの基本設定、基本操作を学ぶ ・光のコントロールや画角の基礎知識を習得する ・静止画像の基本撮影技法、基本編集技法を習得する ・動画の基本撮影技法、基本編集技法を習得する	○ ○ ○ ○	 ◎ ◎	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ 	a:一眼レフカメラの構造、シャッターと絞りの構造、測光の仕組み適正露出などの基本知識を理解している。 b: 基本操作を習得することによって、一眼レフカメラの基本設定や露出など撮影手順や作業効率を高める計画を立てることができる。 c:ライティングの基本、静止画像撮影、動画撮影の撮影技法を身につけ、効果的な表現や編集を工夫している。 d: 指示に沿い、決められた時間内に規則に則り、適切に編集作業を行うことができる。	学習状況の観察 ワークシートの記述 制作品 観察記録表 レポート、発表 自己評価・相互評価　等

パート3	フォトレタッチ	・Adobe Photoshop の基本操作 ・画像の変形、修正、合成 ・フィルター、色調補正 ・保存形式	◎	○ ◎ ○ ○	◎ ◎	○ ○ ◎	a：Adobe Photoshop について、そのコマンドや写真編集法を理解している。 b：ペイント系のツール、レタッチ系のツールの機能を理解して編集ができる。 c：課題の画像から自ら編集が必要な個所を見つけ、適切に処理する技術が身についている。 d：画像編集技術を活かし、目的にあったロゴデザイン、フォトコラージュなどが行える。	学習状況の観察 ワークシートの記述 制作品 観察記録表 レポート、発表 自己評価・相互評価　等
パート4	印刷1	・印刷実習概論 ・印刷原稿作成 ・製版 ・平版印刷機 ・手動校正機 ・自動校正機 ・総括	○ ◎ ○	◎	○ ◎ ◎ ◎ ○	○ ◎	a：実習の目的、工程、実習作業の進行計画を確認する。印刷原稿の作成し、分版原稿出力をする。 b：PS 版の作成をするにあたり、焼付け、現像、管理方法を学ぶ。 c：平版印刷の原理、印刷機の原理及び構造、取扱法を理解する。 また印刷機を準備・点検法、整備・点検法を習得する。実習に意欲的に取り組め、安全に作業を進めることができる。 d：基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会における商用印刷の意義や役割を理解している。	学習状況の観察 ワークシートの記述 制作品 観察記録表 レポート、発表 自己評価・相互評価　等

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
　　c：技能　　d：知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。◎は、その中でも特に重点的に評価を行う観点である。